

**トーセイグループ
CSR活動のご報告 2016
(2016年11月期)**

都市に、心を。

T **SEI CORPORATION**

目次 - CONTENTS

1. 環境への取り組み

- ◆ 行動方針 P2
- ◆ 事業を通じた環境負荷軽減 P2,3
- ◆ 金融機関の環境評価融資活用 P4
- ◆ 社員によるエコ活動 P4

2. 社会への取り組み

- ◆ 快適な住まいづくり P5
- ◆ 安心できる街づくり P6
- ◆ 地域・社会への貢献 P7

3. コーポレートガバナンス

- ◆ コーポレート・ガバナンスの充実 P8
- ◆ コンプライアンス P9
- ◆ リスクマネジメント P10
- ◆ 適時適切な情報開示 P10

4. 品質への取り組み

- ◆ 商品の品質管理～お客様の安心・安全に向けた取り組み～ . . . P11

5. 社員とともに

- ◆ 従業員の育成 P11
- ◆ 従業員の労働安全衛生 P11

トーセイグループ 会社概要 (2016年11月30日時点)

トーセイ株式会社	代表者 山口誠一郎 設立 1950年2月2日 所在地 東京都港区虎ノ門四丁目2番3号 資本金 6,421,392千円 従業員 単体152名 (連結368名) 事業内容 不動産流動化事業、不動産開発事業、不動産賃貸事業、不動産ファンド・コンサルティング事業
トーセイ・コミュニティ株式会社	事業内容 不動産管理(プロパティマネジメント)業、ビルメンテナンス業、建物内外の保守、管理、警備、清掃 など
トーセイ・アセット・アドバイザーズ株式会社	事業内容 金融商品取引法に基づく投資運用業(不動産関連特定投資運用業) など
トーセイ・リバイバル・インベストメント株式会社	事業内容 債権売買に関する業務、M&Aに関する業務、不動産、有価証券、その他金融資産に関する投資顧問業 など
トーセイ・ホテル・マネジメント株式会社	事業内容 ホテル事業の企画・運営・管理
Tosei Singapore Pte. Ltd.	事業内容 不動産に関するコンサルティング
株式会社アーバンホーム	事業内容 新築戸建分譲、請負注文住宅、不動産仲介事業 など

1. 環境への取り組み

◆行動方針

➤エコ宣言・エコミッション

トーセイグループは、昨今の地球環境をとりまく状況の変化、温暖化ガス排出削減など、喫緊の課題に鑑み、不動産事業会社として果たすべき企業の責任を重く受け止め、環境への取り組みを強化すべく、2009年4月に「トーセイグループエコ宣言」を制定し、3つの行動方針であるエコミッションに基づいて事業活動を展開しています。

トーセイ
グループ
エコ宣言

トーセイグループは、あらゆる不動産シーンにおいて新たな価値と感動を創造するという企業理念を掲げ、“都市に、心を。”の実現に向けて、人と環境に優しい企業活動を推進し、地球環境の負荷軽減に努めることを宣言します。

エコ
ミッション
～行動方針～

■ミッション1

環境活動推進体制の強化
不動産再生、開発において、省資源、省エネルギーを推進し、環境負荷軽減に努めます。環境事業プロジェクトにより、各種省エネルギー施策導入とマネジメント体制を強化します。

■ミッション2

環境法規制の遵守・環境教育
環境法令・規則を遵守し、環境保全に努めるとともに、社員の環境保全意識の向上、取り組みの実施に向け、環境教育や啓蒙活動を実施します。

■ミッション3

ステークホルダーの皆様への活動報告
「エコ宣言」、「エコミッション」の公表をはじめ、活動の進捗、結果報告に努め、広く社会へコミュニケーションを図ります。

◆事業を通じた環境負荷軽減

➤環境に配慮した不動産再生

トーセイは、魅力的な都市をつくるためには、すべてを壊して立て替えるのではなく、それぞれの土地が持つ個性に合わせた柔軟な取り組みが必要であると考えています。多種多様な既存物件を可能な範囲で活かし、省エネ商品の導入、LED照明の採用、リサイクル材の使用などのバリューアップを通じて、持続可能かつ環境に配慮した不動産を創造しています。

➤屋上緑化・壁面緑化の促進

2006年より積極的に導入を進めてきた保有、販売物件への屋上・壁面緑化については、物件の特性や効果等に鑑みて実施しています。2016年11月末現在累計75棟、約3,670㎡となりました。なお、販売物件の屋上活用については、戸建住宅で屋上テラス付住宅を提供したり、中古オフィスビルに対する屋上再生として緑化やリフレッシュスペースとしてテラスの設置を行うなど、緑化だけに限らない屋上スペースの有効活用を推進しています。

【東陽町トーセイビルの例】



壁面緑化システム導入



ウッドデッキ設置

1. 環境への取り組み

▶「CASBEE 評価認証」Aランク取得

トーセイが開発した3棟のオフィス「虎ノ門トーセイビル」「蒲田トーセイビル」「平和島トーセイビル」において、建築物の環境性能を総合的に格付けする「CASBEE」のAランク認証を取得しています。



虎ノ門トーセイビル



蒲田トーセイビル



平和島トーセイビル



▶自然との共生を考えた街づくり

THEパームスコート越谷レイクタウンは、四季の移ろいを感じる植栽を整備するなど、自然との共生を考えた街づくりを推進しています。敷地を植栽テーマが異なる3つのブロックに分け、草花だけではなく、人や野鳥が食べられる果樹も多彩に植え込み、自然と共存する空間を創出しています。



Hana block …テーマは「アート」
街区の玄関にふさわしい優美さを追求し、葉や花の色彩にこだわった植栽をセレクト。



Midori block …テーマは「フォレスト」
色や形が異なる樹種を多様に織り交ぜ、雑木林のようなやさしさを目指しました。



Megumi block …テーマは「エディブル」
人だけでなく野鳥も食べられる果樹を豊富に植え込み、自然と共存する空間を創出。

▶環境配慮型設備の採用

新たな物件（新築・バリューアップ）の企画時には、40項目を超える、独自の環境商品リストの中から物件の特性に合わせて採用の可否を検討し、省エネルギー、省資源などさまざまな観点から環境商品を積極的に導入しています。

主な環境配慮型設備導入実績



- 屋上緑化・屋上菜園・庭園
- 太陽光発電システム
- LED照明、人感センサー照明
- カーシェアリング・レンタサイクル
- 省エネ型給湯器（エコジョーズ・エネファーム）
- 雨水利用設備
- 節水型水栓、節水トイレ
- 電気自動車充電設備
- 省エネガラス
- 省エネサッシ
- リサイクル素材

1. 環境への取り組み

◆金融機関の環境評価融資活用

物件取得時の融資にあたり、各行が実施する「環境に配慮した経営を行う企業」を対象とした融資制度を活用しています。直近では、2014年から3年続けて北陸銀行の環境評価融資制度「エコリード・マスター」で金利優遇を受けました。融資制度の環境ランク評価においては、グループ全体で“環境に配慮した事業活動”や“社内のエコ活動”を積極的に推進する経営をご評価いただきました。

環境評価融資の実績

2010年	北陸銀行	エコリード・マスター
2011年	八千代銀行	エコリンクローン
2012年	北陸銀行	エコリード・マスター
	みずほ銀行	エコアシスト
2013年	みずほ銀行	エコアシスト
2014年	北陸銀行	エコリード・マスター
2015年	北陸銀行	エコリード・マスター
2016年	北陸銀行	エコリード・マスター

◆社員によるエコ活動

トーセイグループは、地球温暖化防止と、持続可能な社会の発展に向けた環境負荷軽減に努めるべく、社員一人ひとりが環境保全の意識を高め、身近な行動から実践していくことを目指しています。毎年、各部からメンバーを選出したプロジェクトチームが主体となり、社内のエコ活動を推進しています。

▶本社屋上菜園の運営

本社ビルである虎ノ門トーセイビルの屋上では、ヒートアイランド現象緩和への貢献に加え、社員の環境に対する意識の向上・グループコミュニケーションの活性化を目指し、2010年5月から屋上菜園を運営しています。季節に合わせた花や野菜を栽培して、“収穫祭”を開催するなど、社員参加型のイベントを通して、従業員の環境意識向上を図っています。



▶身近なエコ活動

COOLBIZ

WARMBIZ

クールビズ

ウォームビズ

エアコンに頼らず、扇風機やハロゲンヒーターも併用するなど、地道な活動を継続しています。省エネ、省資源の推進については、年間を通じた継続的な取り組みが重要と考え、社員一人ひとりが実施できる身近なエコ活動を引き続き啓発、実施してまいります。

Fun to Share への賛同



トーセイグループは2015年より、低炭素社会実現に向けて環境省が推進する気候変動キャンペーン、「Fun to Share」に賛同し、登録しています。

当キャンペーンは、各団体が実施している地球温暖化防止のためのノウハウや知恵をお互いにシェアし、協力し合って低炭素社会を実現していくことを目指しています。

当社グループは、『“都市に、心を。”の実現で、低炭素社会へ。』と宣言し、既存不動産の再生・活用による循環型社会への貢献と、住宅開発における環境配慮型設備・仕様の積極導入による環境負荷軽減についてシェアしています。

2. 社会への取り組み

◆快適な住まいづくり

▶バリアフリー対応住宅

現在当社グループでは、戸建住宅の開発、販売を推進しています。分譲戸建住宅「THEパームスコート」シリーズでは、一部バリアフリー対応の住宅“Withstyle”を導入しています。長い人生のあらゆるシーンに寄り添う可変性に富んだ住まいを実現するため、将来エレベーターが必要となった時に低コストで仕様変更できるクローゼットの設置や、車いすでの生活を想定した設計等、“住み続けられる10の設計コード”を採用しています。



THEパームスコート橋本

住み続けられる10の設計コード



①エレベーター
設置スペース
確保



②緩やかな
階段を設置
(高さ約180mm)



③通路有効
幅員
850mm以上
確保



④有効開口
800mm以上
の屋内扉

⑤作業スペース1200mm以
上の車いす対応キッチン

⑥車いすでアプローチ可能
なトイレ

⑦玄関に親子扉の引き戸を
採用

⑧フレキシブルな将来間
仕切MA⇄DORI(マ・ドリ)

⑨スロープや手摺を設置した
屋外通路

⑩車いす対応のユニットバス

▶女性による商品企画“Irodorie(イロドリエ)”

トーセイは、戸建開発事業において、女性による商品企画を推進しています。本企画は「暮らしを彩る家を企画したい」という想いから“Irodorie(イロドリエ)”と名づけました。家事や子育てなどを通じて家族の生活を支える女性の発想に着目することで、家族全員が心地いい住まいの形をご提案します。商品開発においては、メンバー以外の女性社員に対しても「家事や子育てにおける困り事」や「理想の間取り・収納のあり方」をヒアリングするなど、広く意見を募り、商品に反映しています。“Irodorie”は今後も様々な戸建住宅のプロジェクトで採用してまいります。



打ち合わせの様子



女性社員での座談会



土間スペース



リビング収納

2. 社会への取り組み

▶ 家族全員が享受できる共用施設の創出

ファミリー向け賃貸マンション「ハウス北柏」は、入居者のいない状態で仕入れ、賃貸マンションには珍しい共用施設を3つ新設しました。主には、子育て世代のファミリーをターゲットに、親子で周囲に気兼ねなく遊ぶことが出来る「キッズルーム」、友人や親戚が集い、料理教室や誕生日イベントを開いて楽しむことが出来る「パーティールーム」、自習や読書など一人の時間が持てる「スタディールーム」を用意。様々なシーンで家族全員が快適に暮らせる空間を提供しています。



キッズルーム



パーティールーム



スタディールーム

▶ 「子育てにやさしい住まいと環境」認定



スカイデッキテラス

トーセイの戸建住宅「パームスコート町田鶴川」では、「子育てにやさしい住まいと環境」認定を取得しました。「子育てにやさしい住まいと環境」は、「ミキハウス子育て総研」による住まいの評価認定事業です。評価では90項目に渡る細かな基準のなか、家族のコミュニケーションの場を重視した庭や屋上のデッキテラスなどの住居部分と、周囲に公園が多く親子で緑と親しめる周辺環境についてご評価いただきました。

◆ 安心できる街づくり



▶ コミュニティ形成の促進

トーセイの戸建住宅「THEパームスコート柏初石」において、住人の皆さまや近隣住民の方々との交流を促進するため、お祭りを開催しました。人と人を繋ぎ、コミュニティ形成をサポートすることで、お客様が地域に溶け込める街づくりを推進しています。



▶ 安全な街並み

イベントの他にも、敷地内に通り抜けができない転回広場“クルドサック”を2箇所設け、安全性に配慮しました。このほか、住戸の門灯やポーチ等にセンサー式のLEDライトを設置。暗くなると自動でライトが点灯し、夜でも街全体が明るく、防犯上も安全な街を目指しています。

2. 社会への取り組み

◆地域・社会への貢献

➤東日本大震災 被災地支援活動

■瓦礫除去やヘドロかき出し

トーセイグループでは、2011年からボランティアや専門家の誘致、寄付等による支援活動を行っています。震災直後は、各地の災害ボランティアセンターを通じて、瓦礫撤去やヘドロの掻き出し等のボランティア活動を実施。震災から1年後からは、宮城県東松島市に拠点を置きボランティア活動を行うNPO法人「児童養護施設支援の会」と協力し、支援活動を継続しています。



■歯科講習の実施



宮城県東松島市の保育所において、震災後予算が下りずに各保育所で歯科講習が実施できていないとの報告を受け、歯科医師や歯科衛生士の方をお招きし、東松島市にある全ての保育所で歯科講習を実施しました。歯科衛生士の方から子ども達に対し、歯磨きの大切さと、年齢別に歯磨きの方法をしっかりと教えていただきました。また、これからのことを考え、保育士の方々に向けた歯磨き指導の講習会も実施していただきました。

■グラウンド整備



2015年は、グラウンドの整備を行い、観戦スペース(約400平米)への芝生張りりと、グラウンド内にはびこる雑草の除草を実施しました。被災地では子ども達が安全に走り回って遊べる場所がまだ少ないことから、子ども達の遊び場兼野球場として使われているグラウンドの整備を行うことになりました。今では芝生もしっかり根付き、雑草も地元の方々が率先して除草して下さっているおかげでグラウンドとして活用されています。

■保育所遊具のペンキ塗り

2016年は、サビだらけになった保育所の遊具を整備しました。遊具のサビは相当進行しており、子どもが遊ぶとサビが手についてしまう状態だったため、やすりでサビを削り取り、ペンキを塗る作業を行うことになりました。2日をかけ、大型の遊具・鉄棒・うんてい・のぼり棒をカラフルに仕上げることができました。“遊具が綺麗になり、子ども達が元気に喜んでいる”と、嬉しいご報告をいただいています。



一被災地で“いま必要なこと”に応えるべく、今後も柔軟性を持って様々なボランティア活動を行ってまいります

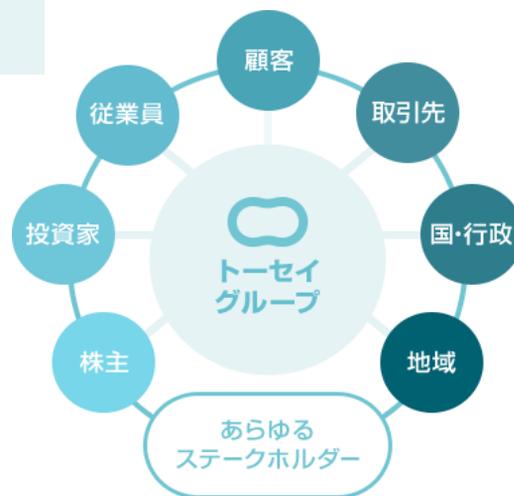
3. コーポレート・ガバナンス

経営環境の変化に迅速かつ的確に対応し、あらゆるステークホルダーに対して、『健全な成長を実現する事業活動を持続する』体制

◆コーポレート・ガバナンスの充実

トーセイグループでは、経営環境の変化に迅速かつ的確に対応し、健全な成長を実現する事業活動を持続することにより、株主、従業員、取引先をはじめとする社会全体のあらゆるステークホルダーに対して、存在意義のあるグループであり続けたいと考えています。そのために最も重要と位置付けられるものがコーポレート・ガバナンスの充実であり、とりわけ「コンプライアンス意識の徹底」「リスクマネジメントの強化」「適時開示の実践」を3つの主要項目として掲げております。

投資家の信頼に応え得る体制の構築に向け、経営トップからグループ社員全員に至るまで、一丸となって体制の更なる強化に努めてまいります。



コーポレート・ガバナンスにおける三つの主要項目

コンプライアンス	リスクマネジメント	適時開示
最重要事項と定め経営トップからグループ社員に至るまで周知徹底	あらゆるリスクを想定し、平時と緊急時の対応を準備、実践	株主・投資家をはじめあらゆるステークホルダーに対し適時適切な開示を実践

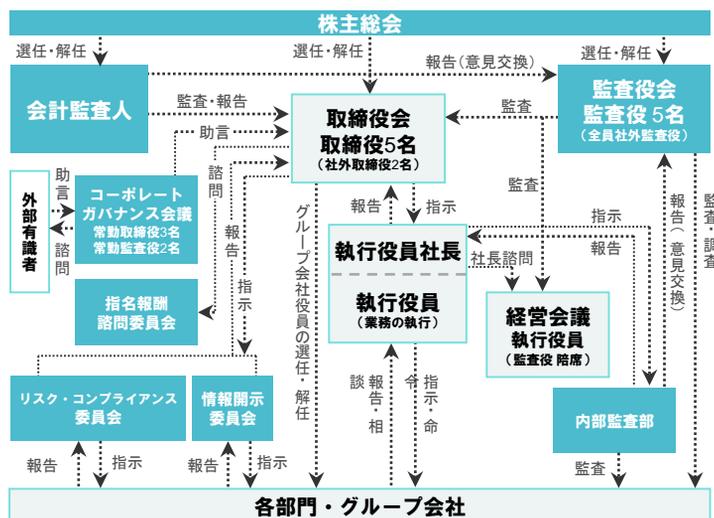
➤取締役会の運営

健全な経営及び監視体制の運営に向け、「取締役会」「監査役会」を設置しています。取締役会は取締役5名（うち社外取締役2名）で構成され、経営の最高意思決定機関として経営方針ならびに重要案件の決議をするとともに、取締役の職務執行を監督しています。

➤指名報酬諮問委員会

株主総会に提出する取締役選任議案にかかる候補者の選定プロセス、および取締役の個別報酬等の配分にかかる取締役会決議等の各々の適正性、透明性を担保することを目的として、取締役会の任意の諮問機関として「指名報酬諮問委員会」を設置しています。委員会は、代表取締役、常勤取締役、社外取締役および常勤監査役が構成員となり、委員たる社外取締役が委員長に就任します。取締役会は、本委員会による答申の内容を最大限に尊重したうえで、適切なガバナンス体制を整備し、株主・投資家各位の負託に応えてまいります。

＜コーポレート・ガバナンス体制図＞



※平成26年11月末時点

➤執行役員制

取締役の責務である経営監視・監督と業務執行をより明確に区別するために、執行役員制を採用しております。執行役員は取締役会において選任され、代表取締役社長は執行役員社長に就任しております。取締役会で決定された方針のもと、最適な業務執行を行うため当社では「執行役員制」を導入しており、2016年11月末現在で10名が就任しています。執行役員で構成される「経営会議」では、取締役会決議案件の事前協議や、執行役員社長が行う重要な意思決定に関する諮問を受け、審議しています。

3. コーポレート・ガバナンス

■三様監査（監査役監査、内部監査、会計監査人監査の連携）

▶ 監査役監査

年間監査計画に基づき、会計監査人との連携や内部監査部との連携により効率的かつ実効性のある監査体制を構築しています。常勤監査役は各取締役及び各部署責任者との定例面談を実施し、業務執行状況の確認を行っています。

▶ 内部監査

年度計画に基づきグループ全体の監査を実施し、不備事象については是正勧告を行い、具体的な指導などのフォローを充実することで不備事象の改善を支援しています。

▶ 会計監査人監査

年間監査計画に従い監査を実施しており事業年度末の監査に加え、四半期末のレビューも実施しています。（監査法人：新創監査法人）

◆コンプライアンス

トーセイグループでは、コンプライアンスの遵守を経営の最重要事項と定め経営トップからグループ社員に至るまで周知徹底しています。トーセイの各部担当執行役員および全部署長、ならびにグループ会社のリスク・コンプライアンス責任者を構成員として「リスク・コンプライアンス委員会」を設置し、年度毎に定めた「リスク・コンプライアンスプログラム」に基づき活動を行っています。

▶ 社内研修

2016年度も従業員を対象とした集合研修や、eラーニングによるインサイダー研修、反社会勢力対応研修、金融商品取引業研修、メンタルヘルス研修等を通じてコンプライアンス教育を実施しました。また、社員から募集した『コンプライアンス標語』のポスターを掲示する他、従業員のコンプライアンス意識、リーガルマインド醸成のためのメールマガジン「コンプライアンスマインド」を発行し、グループ社員への配信を行っています。

2016年11月期 コンプライアンス標語

- | | |
|----------------------|--|
| 12月 内部通報制度 | 『内部通報 会社と通報者を守ります 安心して通報を』 |
| 1月 「行動理念」の実現 | 『チームワークでAdvancing Together』 |
| 2月 誠実な事業活動 | 『その行為 あなたが客でも 怒らない？』 |
| 3月 個人情報保護 | 『個人情報漏洩はあなたの信頼も失います』 |
| 4月 セクハラ・パワハラ防止 | 『パワハラは 指導ではなく 暴力です』 |
| 5月 取引先のマイナンバー管理 | 『マイナンバールールを学んで安全管理』 |
| 6月 法令と規程の遵守 | 『法令規程 守って守ろう 我が社と我が身』 |
| 7月 反社会的勢力との関係拒絶 | 『トラブルはひとりで動かず まず相談』 |
| 8月 グループ内コミュニケーションの向上 | 『トーセイグループは、チームワークで、
Advancing Together』 |
| 9月 日常業務における環境配慮 | 『できることから一つずつ、出さない 捨てない 汚さない』 |
| 10月 災害対策準備 | 『対策は 事前の準備が 実を結ぶ』 |
| 11月 インサイダー取引防止 | 『インサイダー 内容理解が身を守る』 |



コンプライアンス
標語社内掲示ポスター

3. コーポレート・ガバナンス

◆リスクマネジメント

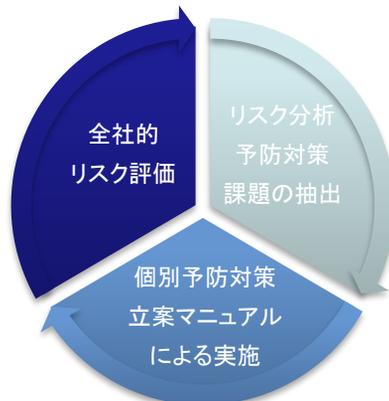
トーセイグループでは、事業活動の推進及び企業価値の維持・向上を妨げる可能性のあるリスクに対して平常時より計画を立て、対策を実行し、損失を最小化する体制を整備することによりステークホルダーの皆様から信頼の得られる会社を目指しています。

➤ 委員会の設置

トーセイの各部担当執行役員および全部署長、ならびにグループ会社のリスク・コンプライアンス責任者を構成員とする「リスク・コンプライアンス委員会」を設置し、グループ全体のリスクの認識・分析・評価、個別事象の情報収集と対策の協議を行っています。
年度毎に「リスク・コンプライアンスプログラム」に従いリスクマネジメントサイクルを実行しており、リスク管理状況のモニタリングを強化しています。

➤ 社内研修

2016年度は、反社会的勢力対応研修、メンタルヘルス研修、インサイダー取引防止研修、総合防災訓練(安否確認、事業継続計画対応訓練)、自衛消防隊訓練を行うなど、社員ひとりひとりの危機管理意識を高める取り組みを行いました。また、災害発生時の対応として、「事業継続計画(BCP)」を策定し、グループ内の各部門における具体的な取り組み計画も作成しています。



避難訓練の様子

◆適時適切な情報開示

トーセイグループでは、「会社法」や「金融商品取引法」などの法令や証券取引所の定める規則に基づく情報の開示にとどまらず、IR活動やホームページなどを通じて株主・投資家をはじめとするステークホルダーの皆さまに対し、適時適切な企業情報の提供を行っています。

➤ 会社説明会

トーセイへの理解を深めていただくために、機関投資家・証券アナリストの皆様を対象とした決算説明会を年2回、そのほか経営トップによる個別ミーティングも積極的に行っています。今期は個人株主の皆様向けに、2月の第66回株主総会開催後に事業戦略説明会を実施したほか、8月にオンライン個人投資家説明会を行いました。



オンライン個人投資家説明会

➤ ホームページによる情報開示

情報開示については、シンガポール証券取引所への上場にとめない日本語・英語の同時開示を行っています。また、ホームページでは、決算説明会動画配信や、決算説明資料の掲載等により、説明会にお越しいただけなかった方にもその様子をお伝えするなど工夫を重ねています。その結果、Webサイトの外部評価機関において一定の評価をいただいています。



当社ホームページ

IRサイトランキング
受賞実績



4. 品質への取り組み

◆商品の品質管理～お客様の安心・安全に向けた取り組み

➤ISO9001（品質マネジメントシステム）

トーセイでは、マンション、オフィスビル、商業ビル、戸建住宅の企画・設計・工事管理及びアフターサービス(定期点検)についてISO9001の認証を取得し、ISO9001に則した厳格な品質管理を行っております。



➤顧客ニーズに応え商品の品質向上を追求～クレーム未然防止検討会・TOSEI-QC-10～

トーセイグループでは、ISO9001の品質管理の一貫としてさらに独自の取り組みを追加しております。

【クレーム未然防止検討会】

新築、中古、オフィスビル、マンションなどにおいて、工事着工直後と仕上げ工事前の2回、当社、設計・工事監理者、施工管理者の三者によって、仕様の細かなチェック、指示内容の綿密な打合せを行っています。問題等の発生を未然に防ぎながらより良い商品の提供に向けて関係者の連携を強化しています。

【TOSEI-QC-10】

新築、中古、オフィスビル、マンションなどの施工管理に関するすべてのプロセスは「TOSEI-QC-10」を基準に、当社、設計・工事監理者、施工管理者の三者によって管理し、特にお客様の目の届かない部分への検査・確認を重点的に行うことで、安心・安全な商品の提供に努めています。



【お客さまの要望を商品にフィードバック】

アフターサービス点検時のクレームや要望、内覧会や入居者アンケートで得られたお客様の生の声を社内にフィードバックし、より質の高い商品の企画設計に向けた取り組みを行っています。

5. 社員とともに

◆従業員の育成

■人材教育研修

トーセイグループでは、従業員の自己研鑽、スキル向上をバックアップするため、人材育成研修の実施や自己啓発援助制度、資格取得奨励制度を導入しています。トーセイグループの理念にある、“グローバルな発想を持つ心豊かなプロフェッショナル”の育成に向け、次世代リーダー育成に向けた社外の経営スクール研修や、階層別研修、専任講師によるレベル別英語研修を実施しています。



研修の様子

◆従業員の労働安全衛生

■労働安全衛生

従業員の健康管理のため年1回の健康診断受診を義務づけています。また、従業員と提携産業医によって構成される「衛生委員会」により、職場環境の整備状況、健康診断受診状況など労働環境全般のレビューを月次で行い、従業員にフィードバックしています。

■メンタルヘルスケア

職場のメンタルヘルスケアに関する研修を提携産業医指導のもと実施しています。また、残業時間が一定時間を超える従業員に産業医等との面談を行うなど、従業員の心身の健康管理に向けた取り組みを実施しているほか、外部の専門医療機関と連携した「こころの健康相談」サービスを導入し、従業員とご家族が電話やメールを通じて、安心して気軽に健康相談ができる窓口を設けています。